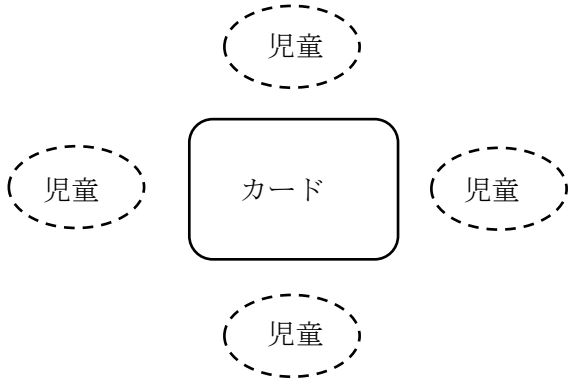
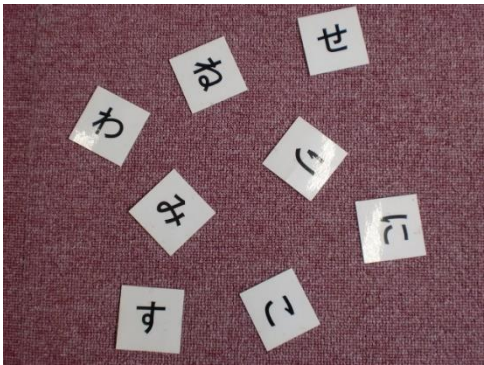


自作教具の活用事例

【作品名】 並べかえて、言葉をつくろう	【学校名】 日立市立中小路小学校
【活用できる領域・教科等】 国語	【制作者名】 加藤 浩美
【制作の意図】 語彙の少ない児童でも、ゲーム感覚で取り組むことによって、新しい言葉を知ったり、思考力を身に付けたりするきっかけになると考えた。	【使用方法】 2～4人で行う。問題を出すのが1人、残りの児童が回答者になる。 問題を出す児童が選んだカード（1～数個の言葉ができる数）をばらばらに置く。回答者は、そのカードを並べ替えてできる言葉が思いついたら挙手をする。正解が出たら問題を出す児童が替わる。
【制作上の工夫】 繰り返し活用できるように、ラミネート加工した。 選んだカードの全体が見られるような文字の大きさにした。	【見取り図】  机を囲んで、児童が椅子に座って行う。
【写真】 	【使用効果と応用発展】 ゲーム感覚で楽しく取り組むことができた。 カードの向きをばらばらにすることによって、逆さ文字でも正しく読むことができた。また、回を重ねるごとに複数枚からカードを選び言葉を作る時間が早くなってきた。 今後、漢字のカードも取り入れながら、漢字＋漢字や漢字＋平仮名等に発展させることによって、言葉の数を増やすことができる。
【材料・材質・部品等】 A4サイズの内紙 ラミネート	